

◆コロナ禍における子育て環境について

①外遊び型子育てひろば
おひさまびよびよの実施場所
や日時等の拡充を。②一時預
かりの場所の拡充を。

③区長 ①コロナ禍では保護者
と子どもたちの安全が最優先
感染の動向を見極めながら事
業運営に努める。②市民
間子育て団体との協働による
外遊び事業とも連携。③他
ひろばへの拡大を働きかける。

◆学校での子どもの権利、教
員の働き方改革、PTAのあ
り方について
①教員の過重労働は問題。
残業時間の目標見直しと適正
な残業代の支払いを。②練馬
区立中学校部活動のあり方に
関する方針について、研修実
施と進捗の把握、部活動指導
員の増員を。③男女混合名簿
は入学式だけでなく、活用の

促進を。④水泳授業における
男女同室での着替え解消のた
め学校への指導と施設整備を。
⑤中学校での標準服の購入・
着用が義務でないことを保護
者へ丁寧に説明を。⑥学校図
書館管理員の勤務時間の見直
しを。委託を中止し直接雇用
を。⑦PTAは任意加入であ

◆コロナ対策について

①高齢者等施設での週1
回のPCR検査は継続し対象
施設を増やせ。②濃厚接触の
定義を大幅な検査数増を
国や都に求めよ。③区内医療
機関や診療所の状況を調べ、
減収補填等の支援を検討せよ。
④医療体制がさらに逼迫する
五輪開催は中止を求めよ。⑤
国民健康保険料等のコロナ禍
の減免は一昨年度との比較を
可能とする等改善を国に求め
よ。⑥事業者への家賃等の援

助を国に求め、区でも支援を。
⑦事業者への国の一時支援金
に区も3万円の上乗せ助成を。
⑧区長 ①コロナ対策の切り札
はワクチン。練馬区モデルに
より希望する全住民への接種
を早期に実現。②健康 都で継
続。区独自検査継続を検討等。
③検査拡充を求める考えはな
い。④引き続き経営状況を注

視。必要に応じ国や都に支援
を要望。④I・O・Cに対
応するのは国と都。⑤国に求
める考えはない。⑥産業経済
国・都・区では既に支援等
を行っており、求める等の考
えはない。⑦行う考えはない。
◆補助給付的業務について
①コロナを理由にした高齢

多様性が尊重され
誰も排除されない練馬を！

インクルーシブな練馬をめざす会 岩瀬 たけし

り、加入しなくても子どもが
不利益を被ることがないよう
団体への丁寧な周知と説明を。
②教育振興 ①退勤管理シス
テムを導入予定。勤務実態を
正確に把握する等働き方改革
を推進。②引き続き方針に基
づく活動となるよう助言。配
置校の検証を確実に先行段階
的に拡充。③各校で場面に応

じて使用。活用が進むよう働
きかける。④児童の人権への
配慮等と安全管理の徹底を両
立させる方策を引き続き検討。
⑤強制ではないことを伝えた
上で丁寧な説明等適切に対応
するよう各校に指示。⑥学校
図書館のさらなる機能強化に
向け検討中。⑦PT

今夏の五輪は中止し、
コロナ対策に全集中を

日本共産党練馬区議員 有馬 豊

者いきいき健康券や高齢者紙
おむつ支給等の縮小は撤回を。
②企画 全ての事業を必要性・
緊急性の観点から見直した。
撤回する考えはない。
◆ケア労働の問題について
①国に介護報酬の引上げ

化する等支援を。③ケア労働
は重要な仕事として評価や処
遇を高める政治を。④私立保
育園で保育士の賃金と公定価
格に差がある場合は改善を求
め委託費の流用や積立て等弾
力運用できる仕組みをなくせ。
◆高齢施策 ①介護報酬は9月
末まで基本報酬に上乗せする

23区中8区で導入済み。練馬
区でも今こそ導入を。

◆総務 法案の動向や都が今年
度実施する調査結果を注視。
◆国の多文化共生推進プラン
の更新に伴う対応について
①練馬区国際交流・多文
化共生基本方針の見直しを。
②在留資格のない外国籍住民
にもワクチン接種を。

◆地域文化 ①令和元年度にア
ンケート調査を実施。国のプ
ランも参考に支援を研究等。
◆保健所 ②接種希望の申し出
あった際の手続を国に確認中。
◆温室効果ガス46%削減目標
を受けた区の対応について
①区の削減目標はまだまだに
26%。区独自の明確な目標を。
◆環境 国のロードマップや都
の施策等を踏まえ取組を検討。

◆財政について
①コロナ禍での歳入の見
通しは。②財政運営を持続可
能とするために積極的に起債
を活用すべき。③減収補填債
が発行できるように国に要請
を。④今後の基金の推移は。
⑤区長 ①リーマンショックを
はるかに上回る減収の見込み
持続可能な財政運営を堅持等
し、有効に活用。③特別区長
会等を通じ国に強く働きかけ
る。④この状況が長く続けば、
いずれ底をつく可能性もある。
◆業務効率化について
①デジタル化による業務
効率化について関係法令が整
備された。情報化基本計画の
見直しの考えは。②押印廃止
の進捗状況と今後の計画は。

◆区財政について
①今後の区の歳入・歳出
の見通しと財政運営の基本的
な考えは。②基金活用につ
いての考えは。③補正予算等
による区内産業支援と地域経済
活性化の施策を。④区長 ①
将来につながる施策
を重点的・機動的に実施する。
②副区長 ますます厳しくなる
持続可能な財政運営を堅持。
③活用方法を検討。④時機を逸
することなく区民や事業者を
支援できるように検討。

一般質問 (要目)

◆区政に独立自尊の精神を！
練馬区議会自由民主党 福沢 剛

◆成年後見制度について
①地域福祉計画に基づく
現在の取組状況は。②制度の
利用促進を図るためにNPO
法人との連携が必要。所見を。
③高齢者の権利擁護に関する
支援やサービスの拡充を。④
高年齢者に終末期準備の啓発を。
◆福祉 ①説明会や講演会実施
のほかパンフレットの発行等。

◆デジタル社会について
①マイナンバーカードの
交付状況および普及促進に向
けた取組は。②区の押印等の
見直しの状況と行政手続のオ
ンライン化への取組は。
③区民 ①交付率は約35%。利

どのような接種方式となるの
か。④区内3大学と連携した
職域接種を進める考えは。
◆保健所 ①区独自支援や予約
枠に空きがある診療所名の公
表等で予約の環境を整備。②
区独自対応のため適応不可。
③検討中。④相談に応じ協力
を。◆アクションプランについて
①条例制定の理由は。②
当事者や関係団体の意見等を
どのように反映させるのか。

③第2次
ビジョンを中心にあらゆる施
策を通し取り組む。④SDG
sのゴールと各事業との関連
性の整理や周知方法等を検討。
◆障害者の意思疎通について
①個別の特性に応じた
多様なコミュニケーション手
段の充実により共生社会の実
現を目指す。②団体ヒアリン
グ等での意見等を踏まえ検討
◆保育所待機児童対策について
①待機児童ゼロ達成の分
析と今後の取組は。②保育の
質の向上についての考えは。
③今後の保育需要の見直しは。
◆教育長 ①前川区長就任以来
7千159人定員増。来年4月に
370人増の予定。②障害児保育
巡回指導でスキルアップを支
援等。③1歳児中心に増加等。

◆ワクチン接種体制の充実、
情報の見える化を
練馬区議会未来会議・
都民ファーストの会・国民民主党 井上 勇一郎

◆新型コロナウイルスについて
①ワクチン接種能力の地
域格差解消のため、予約でき
ない地域の周辺診療所に対し、
受入れの増員要請と空き状況
等の情報提供を。②区内在住
だけでなく区外在住で区内在
勤の教員等に対しても接種を。
③ファイザー製ワクチンの対
象年齢が12歳からとなった。

◆地域医療について
①順天堂練馬病院ととも
に区内三次救急の実現への取
組を。②練馬光が丘病院の改

◆地域福祉計画について
①地域福祉計画に基づく
現在の取組状況は。②制度の
利用促進を図るためにNPO
法人との連携が必要。所見を。
③高齢者の権利擁護に関する
支援やサービスの拡充を。④
高年齢者に終末期準備の啓発を。
◆福祉 ①説明会や講演会実施
のほかパンフレットの発行等。

◆成年後見制度について
①地域福祉計画に基づく
現在の取組状況は。②制度の
利用促進を図るためにNPO
法人との連携が必要。所見を。
③高齢者の権利擁護に関する
支援やサービスの拡充を。④
高年齢者に終末期準備の啓発を。
◆福祉 ①説明会や講演会実施
のほかパンフレットの発行等。

◆成年後見制度について
①地域福祉計画に基づく
現在の取組状況は。②制度の
利用促進を図るためにNPO
法人との連携が必要。所見を。
③高齢者の権利擁護に関する
支援やサービスの拡充を。④
高年齢者に終末期準備の啓発を。
◆福祉 ①説明会や講演会実施
のほかパンフレットの発行等。

◆経済と財政の見通しについて

①長引くコロナ禍による

経済の動向と税収入への影響

は、②経済センサステータを

活用し、地域経済の活性化を

副区長 ①先行き不透明。リ

ーマンショック上回る減収懸

念。産業経済 ②積極的に活

用。地域特性生かし施策展開

◆オリ・パラ開催について

ホストタウンとしての交

流事業やイベント、パブリッ

クビューイング等は感染拡大

防止のため中止すべきでは。

◆地域文化 区のマニュアルに

よる感染予防対策を講じる。

◆新型コロナウイルス感染症

対策について

①ワクチンの接種状況と

キャンセルへの対応は、②ワ

クチン神話を懸念。引き続き

感染防止対策の必要性の啓発

を。③職員のワクチン接種や

副反応時の休暇制度の導入を。

◆生活困窮者支援について

①コロナ禍で生活困窮者

が増加。一律の給付金支給や

住居確保給付金の拡充を国に

求めよ。②区独自の家賃助成

と生活再建支援給付金の再開

を。③生活保護申請者の扶養

照会を本人の意向を尊重する

ことを明確に発信すべき。④

フードドライブ事業への主体

的関わりや防災備蓄物資の活

用でフードバンクや子ども食

堂への支援拡充を。⑤生理用

品の継続的配布や小中学校ト

イレへの配備等支援の拡充を。

◆区長 ①国が新たに行う生活

困窮者への支援金等について

円滑に実施できるような準備を

進める。福祉 特別区長会等

を通じ既に国に要望。②既に

住宅確保要配慮者の負担軽減

を図る助成制度を設けている。

③国の扶養義務者の判断基準

を区ホームページで周知等。

④自宅療養者の急変時の対応

策は。⑤感染症による後遺症

やメンタル面の支援を。

◆区長 ①7月中旬には高齢者

65%への2回目の接種終了の

見直し等。保健所 予約受付

は順調。集団接種会場でのキ

ャンセル発生時は近隣の高齢

者施設従事者に接種。②区報

◆東京五輪など

イベントの感染対策は万全?

練馬区議会立憲民主党

白石 けい子

等丁寧な周知。③接種しや

すい環境整備のため手続を進

める。④地域の医師による訪

問診療等を医師会と協議中等。

⑤関係機関との連携を強化等。

◆介護保険制度改正と事業者

支援について

①事業者に対し、加算体

制の仕組みについての説明や

研修、ICT導入等の支援を。

◆子ども食堂の円滑な運営の

ため定期的な運営団体との連

絡会を開催等。⑤4月から区

立施設等を通じて配布。区立

小中学校では保健室に常備。

◆保育について

①保育施設での網羅的な

PCR検査実施と消毒業務専

任職員の加配を。②認可園を

◆誰一人取り残さない区政の実現を!

日本共産党練馬区議員

小松 あゆみ

増設し保育所等非円定者505名

の解消を。③委託費の弾力運

用はやめ保育士が長く働ける

仕組みを。④行政の負担と責

任を減らすだけの区立園の民

営化はやめ区の直営に戻せ。

◆子ども ①保育施設に勤務す

る区民へのワクチン接種を優

先的に実施。ガイドラインを

策定し保育と感染防止の両立

◆教育振興 ①子どもたちの健

康と安全の確保を最優先とし

適時適切な対応を行うよう学

校に注意喚起。②防止体制を

構築。関係機関と連携し人権

に最大限配慮した対応を行う。

◆コロナ禍での投票する権利

について

◆自宅療養者等の投票機会

が守られるよう体制の構築を。

◆選挙管理 法案が成立した際

は速やかに区民に周知し郵便

投票できるように体制を整える。

◆コロナ禍における防災への

備えについて

◆感染防止とプライバシー

確保にテントは有効。防災教

育としてキャンプの取組を。

◆危機管理 訓練や防災学習セ

ンターの事業を通じて区民一

人一人の自助の取組を推進。

◆教育と子育て支援について

①運動時やこれからの季

節におけるマスクの適切な着

脱指導を。②教員の性暴力に

対し子どもの気持ちを大切に

した保護体制を。

◆子ども食堂の円滑な運営の

ため定期的な運営団体との連

絡会を開催等。⑤4月から区

立施設等を通じて配布。区立

小中学校では保健室に常備。

◆保育について

①保育施設での網羅的な

PCR検査実施と消毒業務専

任職員の加配を。②認可園を

◆誰一人取り残さない区政の実現を!

も危険との声上がる羽田新

飛行ルート運用する理由は、

②時間稼ぎの検討会はやめ、

都心上空を避けるルートを検

討するよう区として求めよ。

◆環境 ①国は国際競争力の強

化等の観点から必要としてい

る。②検討会の動きを注視。

◆としまえんについて

①練馬城址公園整備計画

は住民の声に耳を傾け関係者

に再検討を提起すべき。②大

阪府宮泉佐野丘陵緑地の整備

手法を参考に住民参画を図れ。

③住民の不安解消のため都に

有効避難場所や建屋等の災害

時の活用について説明させよ。

◆企画 ①地元自治体の意向を

踏まえまとめられたもの。再

検討を求めるとは考えはない。②

区として多様な主体との連携

を働きかけていく。◆危機管理

③引き続き避難場所として使

用できることを確認。段階ご

とに関係者間で協議し対応等

◆汚染水海洋放出について

が守られるよう体制の構築を。

◆選挙管理 法案が成立した際

は速やかに区民に周知し郵便

投票できるように体制を整える。

◆コロナ禍における防災への

備えについて

◆感染防止とプライバシー

確保にテントは有効。防災教

育としてキャンプの取組を。

◆危機管理 訓練や防災学習セ

ンターの事業を通じて区民一

人一人の自助の取組を推進。

◆教育と子育て支援について

①運動時やこれからの季

節におけるマスクの適切な着

脱指導を。②教員の性暴力に

対し子どもの気持ちを大切に

した保護体制を。

◆子ども食堂の円滑な運営の

ため定期的な運営団体との連

絡会を開催等。⑤4月から区

立施設等を通じて配布。区立

小中学校では保健室に常備。

◆保育について

①保育施設での網羅的な

PCR検査実施と消毒業務専

任職員の加配を。②認可園を

◆誰一人取り残さない区政の実現を!

も危険との声上がる羽田新

飛行ルート運用する理由は、

②時間稼ぎの検討会はやめ、

都心上空を避けるルートを検

討するよう区として求めよ。

◆環境 ①国は国際競争力の強

化等の観点から必要としてい

る。②検討会の動きを注視。

◆としまえんについて

①練馬城址公園整備計画

は住民の声に耳を傾け関係者

に再検討を提起すべき。②大

阪府宮泉佐野丘陵緑地の整備

手法を参考に住民参画を図れ。

③住民の不安解消のため都に

有効避難場所や建屋等の災害

時の活用について説明させよ。

◆企画 ①地元自治体の意向を

踏まえまとめられたもの。再

検討を求めるとは考えはない。②

区として多様な主体との連携

を働きかけていく。◆危機管理

③引き続き避難場所として使

用できることを確認。段階ご

とに関係者間で協議し対応等

◆汚染水海洋放出について

が守られるよう体制の構築を。

◆選挙管理 法案が成立した際

は速やかに区民に周知し郵便

投票できるように体制を整える。

◆コロナ禍における防災への

備えについて

◆感染防止とプライバシー

確保にテントは有効。防災教

育としてキャンプの取組を。

◆危機管理 訓練や防災学習セ

ンターの事業を通じて区民一

人一人の自助の取組を推進。

◆教育と子育て支援について

①運動時やこれからの季

節におけるマスクの適切な着

脱指導を。②教員の性暴力に

対し子どもの気持ちを大切に

した保護体制を。

◆子ども食堂の円滑な運営の

ため定期的な運営団体との連

絡会を開催等。⑤4月から区

立施設等を通じて配布。区立

小中学校では保健室に常備。

◆保育について

①保育施設での網羅的な

PCR検査実施と消毒業務専

任職員の加配を。②認可園を

◆誰一人取り残さない区政の実現を!

も危険との声上がる羽田新

飛行ルート運用する理由は、

②時間稼ぎの検討会はやめ、

都心上空を避けるルートを検

討するよう区として求めよ。

◆環境 ①国は国際競争力の強

化等の観点から必要としてい

る。②検討会の動きを注視。

◆としまえんについて

①練馬城址公園整備計画

は住民の声に耳を傾け関係者

に再検討を提起すべき。②大

阪府宮泉佐野丘陵緑地の整備

手法を参考に住民参画を図れ。

③住民の不安解消のため都に

有効避難場所や建屋等の災害

時の活用について説明させよ。

◆企画 ①地元自治体の意向を

踏まえまとめられたもの。再

検討を求めるとは考えはない。②

区として多様な主体との連携

を働きかけていく。◆危機管理

③引き続き避難場所として使

用できることを確認。段階ご

とに関係者間で協議し対応等

◆汚染水海洋放出について

が守られるよう体制の構築を。

◆選挙管理 法案が成立した際

は速やかに区民に周知し郵便

投票できるように体制を整える。

◆コロナ禍における防災への

備えについて

◆感染防止とプライバシー

確保にテントは有効。防災教

育としてキャンプの取組を。

◆危機管理 訓練や防災学習セ

ンターの事業を通じて区民一

人一人の自助の取組を推進。

◆教育と子育て支援について

①運動時やこれからの季

節におけるマスクの適切な着

脱指導を。②教員の性暴力に

対し子どもの気持ちを大切に

した保護体制を。

◆子ども食堂の円滑な運営の

ため定期的な運営団体との連

絡会を開催等。⑤4月から区

立施設等を通じて配布。区立

小中学校では保健室に常備。

◆保育について

①保育施設での網羅的な

PCR検査実施と消毒業務専

任職員の加配を。②認可園を

◆誰一人取り残さない区政の実現を!

も危険との声上がる羽田新

飛行ルート運用する理由は、